

## 2021年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年8月6日

上場取引所 東

上場会社名 日精エー・エス・ビー機械株式会社

コード番号 6284 URL <http://www.nisseiasb.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 C00 (氏名) 宮坂 純一

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 容貝 泉夫 TEL 0267-23-1560

四半期報告書提出予定日 2021年8月10日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年9月期第3四半期の連結業績 (2020年10月1日～2021年6月30日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第3四半期	27,371	57.0	7,287	178.6	7,983	232.2	5,704	150.8
2020年9月期第3四半期	17,439	△6.1	2,615	△0.7	2,403	△11.2	2,274	8.2

(注) 包括利益 2021年9月期第3四半期 6,379百万円 (329.9%) 2020年9月期第3四半期 1,484百万円 (△15.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第3四半期	380.48	—
2020年9月期第3四半期	151.69	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年9月期第3四半期	64,165	36,878	57.4
2020年9月期	57,899	31,384	54.2

(参考) 自己資本 2021年9月期第3四半期 36,850百万円 2020年9月期 31,363百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期	—	0.00	—	60.00	60.00
2021年9月期	—	0.00	—	—	—
2021年9月期(予想)	—	—	—	100.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 2021年9月期の連結業績予想 (2020年10月1日～2021年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,600	34.3	8,700	79.4	9,400	101.3	6,600	55.7	440.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2021年9月期3Q	15,348,720株	2020年9月期	15,348,720株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2021年9月期3Q	357,131株	2020年9月期	357,048株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2021年9月期3Q	14,991,639株	2020年9月期3Q	14,991,673株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本書に記載した業績予想数値等は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき判断した見通しであり、実際の業績等は、様々な要因により異なる場合があります。業績予想等の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(四半期連結損益計算書) .....	7
(四半期連結包括利益計算書) .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報) .....	9
3. 補足情報 .....	10
受注及び販売の実績 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2020年10月1日～2021年6月30日)の世界経済は、新型コロナウイルスに起因する非常に不確実な状況が継続しました。欧米諸国を中心として、ワクチン接種率の増加により感染状況、及び景況感に改善も見られ、年後半にかけて景気が回復することが見込まれます。しかし一部新興国では変異株の感染が拡大し、更には他地域へも影響を及ぼしました。世界全体の経済成長率は今後伸長することが期待されるものの、依然として先行き不透明で予断を許さない状況です。我が国においても、大都市圏を中心に緊急事態宣言が複数回発令されており、経済への影響も含め、今後も非常に不確実な状況が継続する見通しです。

一方で、当社グループの属するストレッチブロー成形機業界におきましては、大規模展示会の中止や、顧客への訪問機会の減少といった一時的なマイナス影響はあるものの、コロナ禍による生活様式の変化を受け、安全で衛生的なプラスチック容器の需要は高まっており、食料・飲料及び日用品などの生活必需品を中心とした容器需要は底堅く推移しております。

こうした環境下、当社グループは「人と社会に豊かさを提供する」「高い技術、サービスで恒久的な存続を追求する」との経営理念に基づき、中長期的な成長発展方針を継続し、事業規模の拡大を見据えた各種戦略的施策の展開に注力しました。

技術面では、当社の得意領域である、高品質・高付加価値生産が特徴のワンステップ成形機の優位性を高める「ゼロ・クーリングシステム」の更なる進化を図り、製品競争力の向上に努めました。また、大量生産機のシェア拡大や、環境問題を含む幅広い用途への利用を企図して、高品質・高付加価値な新型機群の開発を強化しております。

販売面では、競争力強化による市場喚起に加え、コロナ禍による衛生観念の広がりを追い風に、安全で衛生的なプラスチック容器の需要が好調に推移しております。また、高品質な飲料系ボトルの大量生産を得意とする1.5ステップの大型機「PF36シリーズ」が継続して受注を獲得するなど、顧客と市場の幅を着実に広げております。

生産面では、インド工場における金型生産能力の増強を完了しました。インド工場はインドのコロナ感染拡大に係わらず、生活必需品産業の一面として安定生産を継続しました。また同工場の生産性改善を更に進めるとともに、本社工場へ金型追加加工設備を導入し、グローバルでの生産全体最適を図る柔軟な体制を構築することにより、増産対応とリスク分散を進めております。また今後の顧客需要に、より迅速かつ的確に対応していくため、インド工場へ追加の設備投資を実施することを決定しました。

また環境対応技術では、「3R+Renewable」への取り組みを継続し、「材料使用量の削減」、「PETボトルリユースの提案」、「リサイクル材料の使用促進」、「バイオプラスチックのボトル成形」などのソリューションを提供することで、環境配慮型の技術提案を強化しております。なお、リサイクル材料を使った二層成形法には国内外からの多くの引き合いをいただいております。市場萌芽に向けた技術革新を今後も続けてまいります。

販売成績につきましては、ゼロ・クーリングシステムの市場浸透に加え、安全で衛生的なプラスチック容器の需要の高まりを受け、全世界からの引き合いが好調に推移した結果、当期の受注高は26,429百万円(前年同期比107.9%)と大きく伸長しました。また当期末の受注残高は14,443百万円(前年同期末比91.2%)となり、受注高は過去最高水準となりました。売上高につきましても、豊富な受注残高を順調に消化した結果、27,371百万円(前年同期比157.0%)と大幅増収となり、第3四半期としては過去最高を記録しました。

利益面につきましては、大幅な増収が寄与し、売上総利益は13,072百万円(同156.3%)、営業利益は7,287百万円(同278.6%)、経常利益は7,983百万円(同332.2%)とそれぞれ大幅増益となりました。その結果、親会社株主に帰属する四半期純利益も5,704百万円(同250.8%)と大幅増益となりました。

当第3四半期連結累計期間における損益の状況は次のとおりであります。

(単位：百万円)

	売上高	売上総利益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益
当第3四半期	27,371	13,072	7,287	7,983	5,704
前第3四半期	17,439	8,361	2,615	2,403	2,274
前年同期比	157.0%	156.3%	278.6%	332.2%	250.8%

## 製品別売上高状況

(単位：百万円)

	ストレッチブロー成形機	金型	付属機器	部品その他	合計
当第3四半期	15,654	7,712	1,493	2,510	27,371
前第3四半期	9,247	4,837	1,157	2,197	17,439
前年同期比	169.3%	159.4%	129.1%	114.3%	157.0%

製品別売上高の状況につきましては、ストレッチブロー成形機が15,654百万円（前年同期比169.3%）、金型が7,712百万円（同159.4%）となりました。ストレッチブロー成形機、金型共に世界各地からの引き合いを受け、大幅な増収となっております。また付属機器が1,493百万円（同129.1%）、部品その他が2,510百万円（同114.3%）と、これら付帯製品、サービスも増収となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## セグメント（地域）別売上高状況

(単位：百万円)

	米州	欧州	南・西アジア	東アジア	合計
当第3四半期	9,555	5,888	7,941	3,985	27,371
前第3四半期	5,869	3,595	5,070	2,903	17,439
前年同期比	162.8%	163.8%	156.6%	137.3%	157.0%

## セグメント（地域）別利益

(単位：百万円)

	米州	欧州	南・西アジア	東アジア	合計
当第3四半期	1,669	775	1,417	5,985	9,848
前第3四半期	885	418	128	2,778	4,211
前年同期比	188.6%	185.2%	1,104.5%	215.4%	233.8%

## ① 米州

消毒液や生活必需品等の容器需要の高まりを受け、北米を中心に好調な引き合いが続いたことにより、地域全体の売上高は9,555百万円（前年同期比162.8%）と増収となりました。セグメント利益も、増収が寄与し1,669百万円（同188.6%）と増益となりました。

## ② 欧州

欧州各国ではコロナ禍への対応が異なり、地域による濃淡の差はあるものの、中小型機を中心に引き合いが好調に推移した結果、地域全体の売上高は5,888百万円（前年同期比163.8%）と増収となりました。セグメント利益も、増収効果に加え、展示会費用の減少等により775百万円（同185.2%）と増益となりました。

## ③ 南・西アジア

一部新興国において変異株感染が拡大し、経済への影響を与えているものの、インドを中心に中小型機の引き合いが堅調に推移した結果、地域全体の売上高は7,941百万円（前年同期比156.6%）と増収となりました。セグメント利益も増収効果により1,417百万円（同1,104.5%）と増益となりました。

## ④ 東アジア

各国市場の引き合いは底堅く推移しており、地域全体の売上高は3,985百万円（前年同期比137.3%）と増収となりました。セグメント利益は、増収の効果、及び展示会費用の減少等により5,985百万円（同215.4%）と増益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

(単位：百万円)

	流動資産	固定資産	流動負債	固定負債	純資産
当第3四半期	47,620	16,545	14,096	13,190	36,878
前連結会計年度	42,020	15,879	11,783	14,731	31,384

当第3四半期連結会計期間末（以下、当期間末）の流動資産は、前連結会計年度末（以下、前期末）と比べ5,599百万円増加し、47,620百万円となりました。また、固定資産は、前期末と比べ666百万円増加し、16,545百万円となりました。この結果、当期間末の資産合計は、前期末と比べ6,265百万円増加し、64,165百万円となりました。

流動負債は、前期末と比べ2,313百万円増加し、14,096百万円となりました。また、固定負債は、前期末と比べ1,541百万円減少し、13,190百万円となりました。

純資産は、前期末と比べ5,494百万円増加し、36,878百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社業績は全世界的に堅調な受注を背景に好調に推移しております。売上が過去最高値を大幅に更新する水準での達成に向けて順調に推移するとともに、生産性の改善進展に伴い採算性が向上し、また、コロナ禍の影響継続により大規模展示会が中止になるなど営業費用が抑制されました。更に、円安の進行により為替の換算差益が発生しております。これらの結果、通期利益は当初予想値より上振れる見込みです。

第2四半期連結会計期間におきまして、既に通期業績予想値の上振れ可能性は高まっておりました。しかし、インド国におけるコロナ感染者数の急拡大による当社インド工場を取り巻く環境の不透明性の高まりや、当年3月にかけて急激に進んだ円安が債権債務の換算に影響する可能性に鑑み、通期公表予想値を上回る増加金額の合理的見積もりが困難であったため、公表予想値を据え置いておりました。

当第3四半期連結会計期間におきまして、利益項目は既に通期公表予想値を上回っております。また、インド工場は生活必需品産業の認定のもと安定操業を継続しており、インド国のコロナ感染拡大も縮小しています。為替動向につきましても、4月以降概ね円安基調で安定的に推移しています。

このような状況に鑑み、2020年11月11日公表の通期連結業績予想の上方修正を算定しましたので公表いたします。

なお、業績予想につきましては今後のコロナウイルス感染症の動向次第で変動する可能性があります。開示すべき重要な事項が発生した場合には速やかに業績への影響をお知らせいたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	17,699	20,727
受取手形及び売掛金	7,817	7,938
有価証券	1,500	—
商品及び製品	1,772	2,111
仕掛品	5,874	7,139
原材料及び貯蔵品	6,176	8,158
その他	1,248	1,607
貸倒引当金	△68	△61
流動資産合計	42,020	47,620
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	5,044	4,963
機械装置及び運搬具 (純額)	4,811	5,313
土地	1,165	1,169
その他 (純額)	2,980	2,779
有形固定資産合計	14,001	14,226
無形固定資産	106	118
投資その他の資産		
投資有価証券	164	180
その他	1,611	2,068
貸倒引当金	△3	△48
投資その他の資産合計	1,771	2,200
固定資産合計	15,879	16,545
資産合計	57,899	64,165

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,117	4,507
短期借入金	1,898	2,049
未払法人税等	575	1,453
前受金	4,200	3,753
賞与引当金	482	618
役員賞与引当金	49	41
その他	1,458	1,672
流動負債合計	11,783	14,096
固定負債		
長期借入金	13,036	11,452
役員退職慰労引当金	472	478
退職給付に係る負債	715	760
その他	507	497
固定負債合計	14,731	13,190
負債合計	26,515	27,286
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,860	3,860
資本剰余金	3,196	3,196
利益剰余金	27,686	32,505
自己株式	△300	△300
株主資本合計	34,443	39,261
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△0	15
為替換算調整勘定	△3,033	△2,384
退職給付に係る調整累計額	△45	△42
その他の包括利益累計額合計	△3,079	△2,411
非支配株主持分	20	28
純資産合計	31,384	36,878
負債純資産合計	57,899	64,165



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)
売上高	17,439	27,371
売上原価	9,077	14,298
売上総利益	8,361	13,072
販売費及び一般管理費	5,745	5,785
営業利益	2,615	7,287
営業外収益		
受取利息	107	100
受取配当金	7	7
為替差益	—	462
受取手数料	124	34
受取和解金	—	146
その他	80	79
営業外収益合計	320	829
営業外費用		
支払利息	32	39
為替差損	205	—
遊休資産諸費用	88	—
訴訟関連費用	195	84
その他	11	10
営業外費用合計	532	133
経常利益	2,403	7,983
特別利益		
固定資産売却益	23	—
保険差益	419	—
特別利益合計	442	—
特別損失		
新型コロナウイルス感染症による損失	317	—
特別損失合計	317	—
税金等調整前四半期純利益	2,529	7,983
法人税、住民税及び事業税	624	2,361
法人税等調整額	△373	△89
法人税等合計	250	2,272
四半期純利益	2,278	5,711
非支配株主に帰属する四半期純利益	4	7
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,274	5,704

(四半期連結包括利益計算書)  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	2,278	5,711
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△27	15
為替換算調整勘定	△767	649
退職給付に係る調整額	—	3
その他の包括利益合計	△794	668
四半期包括利益	1,484	6,379
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,479	6,372
非支配株主に係る四半期包括利益	4	7

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	米州	欧州	南・西アジア (注) 1	東アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	5,869	3,595	5,070	2,903	17,439	—	17,439
セグメント間の内部 売上高又は振替高	45	20	4,345	8,835	13,246	△13,246	—
計	5,914	3,615	9,416	11,738	30,685	△13,246	17,439
セグメント利益	885	418	128	2,778	4,211	△1,595	2,615

- (注) 1. 南・西アジアのセグメント利益には、新型コロナウイルス感染症による損失317百万円が含まれております。当該損失は、インド国によるロックダウン命令により、インド子会社工場において、一定期間の操業停止を含む異常な操業度の低下が発生したため、当該影響額を特別損失として計上したものです。なお当該特別損失317百万円については、セグメント利益の調整額において、調整を行っております。
2. セグメント利益の調整額△1,595百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,535百万円、セグメント間取引消去622百万円、及び新型コロナウイルス感染症による損失317百万円の特別損失への振替が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	米州	欧州	南・西アジア	東アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	9,555	5,888	7,941	3,985	27,371	—	27,371
セグメント間の内部 売上高又は振替高	66	23	6,581	15,908	22,580	△22,580	—
計	9,621	5,912	14,523	19,894	49,951	△22,580	27,371
セグメント利益	1,669	775	1,417	5,985	9,848	△2,561	7,287

- (注) 1. セグメント利益の調整額△2,561百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,546百万円、セグメント間取引消去△14百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 3. 補足情報

## 受注及び販売の実績

## ① 受注実績

製品別	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)		前年同期比	
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (%)	受注残高 (%)
ストレッチブロー成形機	14,949	10,314	15,599	9,054	104.4	87.8
金型	5,670	4,343	6,582	4,119	116.1	94.8
付属機器	1,662	1,110	1,755	1,175	105.6	105.9
部品その他	2,219	61	2,491	94	112.3	154.3
合計	24,502	15,829	26,429	14,443	107.9	91.2

セグメント別	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)		前年同期比	
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (%)	受注残高 (%)
米州	7,899	4,564	8,214	4,280	104.0	93.8
欧州	5,135	3,416	4,411	1,997	85.9	58.5
南・西アジア	6,371	3,944	8,351	4,344	131.1	110.2
東アジア	5,095	3,905	5,451	3,821	107.0	97.9
合計	24,502	15,829	26,429	14,443	107.9	91.2

(注) なお受注高の計算に際しては、前期以前に受注した案件のキャンセルは前期末受注残高より控除しております。

## ② 販売実績

製品別	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)		前年同期比(%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
ストレッチブロー成形機	9,247	53.0	15,654	57.2	169.3
金型	4,837	27.8	7,712	28.2	159.4
付属機器	1,157	6.6	1,493	5.4	129.1
部品その他	2,197	12.6	2,510	9.2	114.3
合計	17,439	100.0	27,371	100.0	157.0

セグメント別	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)		前年同期比(%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
米州	5,869	33.7	9,555	34.9	162.8
欧州	3,595	20.6	5,888	21.5	163.8
南・西アジア	5,070	29.1	7,941	29.0	156.6
東アジア	2,903	16.6	3,985	14.6	137.3
合計	17,439	100.0	27,371	100.0	157.0